

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第20主日 20th Sunday in ordinary time

わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである (ルカ 12・49)

“I have come to bring fire to the earth” (Lk 12・49)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449
<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事：50周年記念事業実行委員会会議

桑原篤史修道士初誓願を宣立されました

一昨日8月11日(金)に桑原篤史修道士の初誓願式がたくさんの方とご両親をはじめ、多くの信者と神様が見守るなかアウグスチノ修道会への初誓願を宣立されました。7月23日には松尾太修道士の助祭叙階式が行われ、葛西教会にとって恵み多き夏となりました。おふたり、おめでとうございます。

聖書勉強会

聖書勉強会を毎月第4日曜日のミサ後11:30より小聖堂で行います。たくさんの方の参加をお持ちしています。(宣教部:シスター植木)

献堂50周年記念事業第5期献金報告

2016年第5期報告(7月末現在)

申込者数:22名(目標:200名)

献金合計:629,500円(目標:3,000,000円)1期からの合計は11,059,317円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

7月22名 277環です。累計で78名 1,271環です。今年は3,000環が目標です。よろしくお祈り致します。(50周年委員会)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 11,059,317 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、9月15日(木)、10月20日(木)、11月17日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

神よ、わたしたちの目を
開いてください。

その他今後の予定

08月14日(日) 年間第20主日

08月15日(月) 聖母被昇天祭 10:00時 ミサ後聖書勉強会

08月21日(日) 年間第21主日 交換ミサ 葛西⇔市川
女子パウロ会 聖具販売

08月28日(日) 年間第22主日 アウグスチノ祭

今週の掃除は8月20日(土)
清新町地区です。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
August 20th Saturday
Seishin-cho Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第20主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (12:49-53)

[そのとき、イエスは弟子たちに言われた。]「わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである。その火が既に燃えていたらと、どんなに願っていることか。しかし、わたしには受けねばならない**洗礼**がある。それが終わるまで、わたしはどんなに苦しむことだろう。あなたがたは、わたしが地上に**平和**をもたらすために来たと思うのか。そうではない。言っておくが、**むしろ分裂だ**。今から後、一つの家に五人いるならば、三人は二人と、二人は三人と対立して分かれるからである。

父は子と、子は父と、母は娘と、娘は母と、しゅうとめは嫁と、嫁はしゅうとめと、対立して分かれる。」

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (12:49-53)

I have come to bring fire

Jesus said to his disciples: "I have come to bring fire to the earth, and how I wish it were blazing already! There is a baptism I must still receive, and how great is my distress till it is over!" "Do you suppose that I am here to bring peace on earth? No, I tell you, but rather division.

For from now on a household of five will be divided: three against two and two against three; the father divided against the son, son against father, mother against daughter, daughter against mother, mother-in-law against daughter-in-law, daughter-in-law against mother-in-law.”

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおさげいたします。

アーメ

ン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）